

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

ロータリーの心で  
友情を深めよう

高田ロータリークラブ  
今年のスローガン

勇気と希望をもって、  
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長     ゴードンR. マッキナリー

第2560地区ガバナー     米山 忠俊

高田ロータリークラブ会長     山田 守

幹事     吉田 巧

広報・会報・雑誌委員会：

細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第 23 回例会 1 月 26 日(金)

No.23

会長挨拶 ●山田 守



20 日に JAXA が開発した SLIM が月面着陸に成功しました。ようやく世界で 5 番目になりました。月には氷の存在する可能性があり、水があれば飲料水、酸素等を確保できることから長期滞在が可能となります。月を拠点とした火星探査等宇宙での活動領域を広げることができます。

マットデーモン主演の「オデッセイ」という映画があります。これは火星の有人探査で砂嵐により一人火星に取り

残された植物学者の主人公が水、空気、電気を造りジャガイモを栽培して生き残りに挑戦するという SF 映画ですが、現実になくなったような気がします。

2018 年 10 月に打ち上げられた日本とヨーロッパ共同プロジェクトの「ベピ・コロombo」水星探査計画でアリアン 5 号ロケットが来年 12 月に到着予定です。こちらにも期待したいと思っています。



出席報告

出席率 97.96%

メイクアップ

大谷光夫君：1/22 ガバナー指名委員会

ビジター

和泉伸一郎様（第7分区次期ガバナー補佐/新井妙高 RC）  
清水信博様（高田東 RC）

お客様スピーチ



和泉伸一郎様  
第7分区次期ガバナー補佐  
新井妙高 RC

ニコニコ BOX 紹介

石田誠夫君：1月23日上京のため新幹線かがやきに乗車、偶然石倉さんと一緒でした。しかし、大宮駅付近で停電のため停車し、線路に降ろされました。人生で初めての経験をさせて頂きましたが、無事帰ってきました。

委員会報告

社会奉仕委員会：能登半島地震支援のお願い

幹事報告

配布物：会報No.22

回覧物：中田瑞穂生誕 130 年記念詩書画の美チラシ



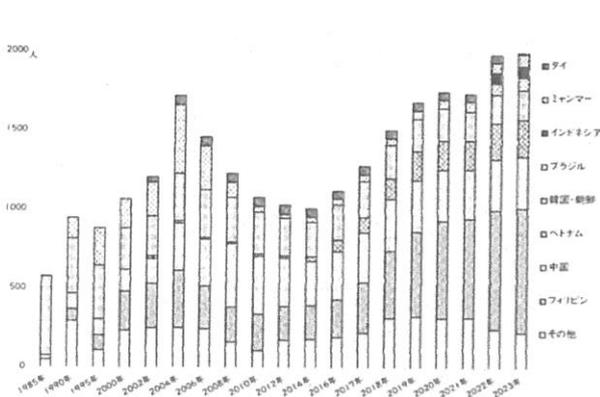
公益財団上越国際交流協会 事務局長 佐藤睦子様

1.公益社団法人上越国際交流会

設立 1996年 3月 2日

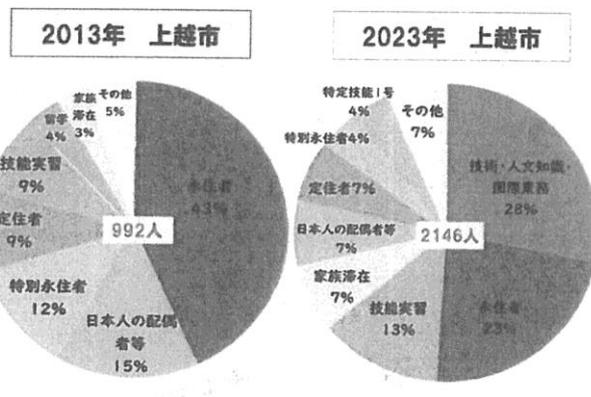
外国人市民が地域社会で自立して生活するための支援→多文化共生の創成

2.上越市の在留外国人について



上越市の在留外国人数の推移

- ・2015年より増加に転じる一方で日本人数の減少
- ・国別人数では、①フィリピン ②中国 ③ベトナム



上越市の在留資格別構成の比較

- ・10年間に労働者としての転入が約8倍
- ・特徴は、技術・人文知識・国際業務の在留資格の割合が多い (家族帯同が可能)

3.課題

2018年頃より労働者だけではなく、その家族も多く転入→特に、教育分野、医療分野において、対応を迫られている。外国につながる子どもの教育においては、子どもへの日本語支援の在り方や体制づくりを市教委に要望し、2020年～5.5倍の予算措置が行われた。それまでの外国籍の教育は「就学義務対象外」という認識だったが、大きく変わり彼らの日本語支援が大学の専門家-市教委-JOINの連携で進められるようになった。この連携体制はこの分野において県内の先進例となっている。しかし、子どもたちや異文化に対する教育関係者の理解は十分でない。日本で生きる子どもたちが夢や希望をもち日本の未来を担うことができるよう、彼らとのかかわる当事者とともに支援体制等を構築したいと考えている。

外国人医療分野については、現在、医療通訳派遣が間に合わないほどの状況である。命に係わる通訳をボランティアレベルでしているものなのか？という疑問はいつもついて回っている。外国人が医療機関にアクセスできなかつたり、医療文化の違いや宗教面の事情でトラブルを起こしたりと心配は尽きない。この分野も散在地域に急激に外国人労働者が増えた2018年ごろから増加している。医療通訳派遣についても、制度の見直しが必要だと考える、自治体任せではなく、外国人、医療機関、外国人労働者の受け入れ企業、など多方面からの協力が必要だと考えている。

そして最後に、元旦に起きた「令和6年能登半島地震」で痛感したことは、「つながる」「つなげる」ことの重要性である。そのためには、日ごろの関係づくりが大切であると感じた。外国人が地域に、外国人コミュニティに、教会に、当協会に、どこでもいいからつながる。緊急時には、「確かな情報」がそれらの関係を伝えて伝わるに違いない。それに「自助」として普段から「確かな情報」につながる練習が避難訓練と同様に必要だと感じた。

#### 4. 今後に向けて

生産年齢人口が減り労働力不足という将来予測が、いろいろな研究から出されているが、上越市のある新潟県の数字は芳しくない。そこを補うべく外国人の労働力に頼らざるを得ない予測が出ているが、「果たして新潟県上越市に来てくれるのか?」「来てもらうために、私たちができることは何か?」「すべきことは何か?」をみなさんとともに考えたい。ご教示いただければ幸いです。本日はありがとうございました。



本日のお食事  
かきフライ



#### <お誕生日>

出澤英則君・橋詰敏一君  
飯塚宏佳君・山田 守君  
本山秀樹君・高橋孫左衛門君

#### <ご結婚記念日>

星 則夫君